

## ■ 学位論文要旨 (修士)

## 音声変換による音声フィードバック変化が オンライン会話に与える影響の測定環境 および評価方法の提案

小山 真実

(現代社会研究科公共圏創成専攻)

大学などの教育機関でオンライングループ会話が行われることが増えた。しかしオンラインでのグループ会話では自分自身に対してより批判的になることから、コミュニケーションの不安を感じている人もいる。そしてその解決方法としてアバターを使用してVR空間でグループ会話に参加する方法が研究されている。

一方、外見ではなく音声を変化させたいと思う人もいる。そこで、音声変換技術を用いて他者との会話時の音声フィードバックを普段の声から変化させたとき、オンライン会話でコミュニケーション能力がどのように変化するかを明らかにすることを研究目標とし、本稿ではコミュニケーション能力を評価する指標および音声変換技術を用いてオンライン会話に参加する環境構築の試作について述べる。

本論文の構成について説明する。1章では本研究を行うにあたっての研究背景を述べる。2章では、音声変換、対面コミュニケーション、オンラインコミュニケーションに関する先行研究を述べる。3章では本研究の研究目的について述べる。オンライン会話のコミュニケーション能力を評価する環境を構築し、適切な評価の手法を提案するという研究目的について説明する。4章では音声変換オンラインコミュニケーションの実験環境の構築について述べる。音声変換のアプローチ方法、具体的なオンラインで音声変換を行いながらコミュニケーションする環境について説明する。5章ではコミュニケーション能力の評価指標の設定について述べる。評価指標をどのように設定したのかについて説明する。6章では評価指標のデー

タの計測について述べる。7章ではオンラインコミュニケーションの実験シナリオの設定について述べる。実験を行うと想定した場合に考えられる効果を説明する。8章で本研究の成果とまとめを述べる。